

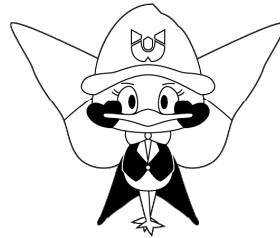


今が頑張りどき、もうひと頑張り！

今日は学年末テスト最終日、高校生最後の試験が終わりましたね。まずはお疲れ様でした。

第一志望校に向けて頑張っている人へ、国公立大学一般入試、私立大学一般入試はこれからです。これからの皆さんの頑張りがとても大切です。2月に入ると全員揃っての授業はありませんが、個別指導の申し込みは随時受け付けていますので、ぜひ申し込みましょう！希望者はテスト後のHRが終わったら個別指導をお願いしたい先生のところへ申し込みに行きましょう。「人事を尽くして天命を待つ」最後まで粘った人に勝利の女神は微笑んでくれます。

また、2月も引き続き、自習室を利用することができます。ただし、1年生、2年生は通常授業を行っているので、教室や自習室の【自習室の利用に関して】の掲示をよく読んで、積極的に自習室を利用しましょう！



北稜高校マスコットキャラクター
「ほくりよん」

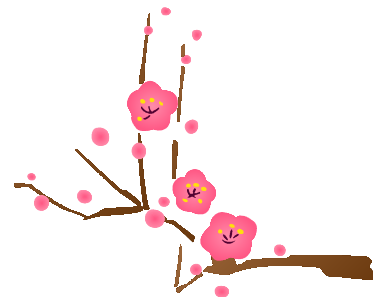
進路に向かって走り出そう！

もう進路が決まっている人はほっと一息つきたいところですが、次の新しいスタートに向かって準備をして欲しいところです。どの分野に進学、就職しても大切になってくる英語などの学習はもちろんですが、時間がある今のうちに以下のことに取り組んでみましょう。

①読書

先生をはじめとする大人は皆さんに「本を読みなさい」と言います。私も国語の先生として、「本を読もう」と何度も伝えています。耳にたこができるほど聞いた言葉かもしれませんが、なぜ大人は「本を読みなさい」と言うのでしょうか。

それは、人生を変えることができるからです。決して大袈裟に言っているわけではありません。人によって大小様々あれど、17～18年生きてきた人生の中で悩みごとの一つや二つあるはず。皆さんはそれらをどうやって乗り越えてきましたか。これから先年齢を重ねるごとに、自分の力だけではどうしようもない出来事が起こります。そんなときの助けになる身近な方法の一つが本を読むことです。だから、色々な人が「本を読みなさい」と言っているのです。自分の中だけで考えると、万策尽きたと思えるような出来事の解決策が本の中にあるかもしれません。



いきなり難しいことをしなくても大丈夫です。まずは本屋に行って色々な棚を巡ってみましょう。気になった本を手にとってみましょう。自分の進路や就職に関連する易しい本から、少しずつ読書を始めていきましょう。

②旅に出る

スマホなどで情報が簡単に入手できるようになりましたが、そんな時代になったからこそ自分で「行く」「見る」「聞く」といった経験が重要になってきます。なぜこの時代にわざわざ旅に出ることが重要なのでしょうか。

「千里の旅、万巻の書」という言葉があります。これは元々中国の言葉で解釈も様々ありますが、『すばらしき旅』の著者、森本哲郎は、「千里の旅をすることは、万巻の書物を読破するにひとしい」と述べています。旅に出ること——知らない何かに出会うことも読書と同じように小さな自分の世界を大きくしてくれます。お金がないという人は、まず近くから始めるのはいかがでしょう。皆さんが住んでいる京都には古典や歴史の教科書に載っている名所や文化財がたくさんあります。もう授業はなくなっただし、大学で専攻するわけでもないから勉強しなくても大丈夫、と思う人もいるかもしれませんが、実は本当に大切なのはこれからです。

例えば、将来海外で仕事をしたい人は語学が堪能であることはもちろんですが、自分の国のことを相手に伝えるということもとても大切です。今まで一生懸命学んできたことを、伝えることはできますか。知識として理解していても、実際に経験してみないと、いざ伝えるというときになかなかうまく表現できないということがよくあります。私は元在日大使館に務めていた外国の方と一緒に食事をしたとき、その人の方が日本のことについて詳しくだったという悔しい思いをしたことがあります。



未来にはばたけ 北稜生！！

これから歩いていく皆さんの人生は今までのように、これだけを勉強すれば良い、ということはありません。

また、今まで出会ったことのない出来事に遭遇して、「途方に暮れてしまう」かもしれません。たくさん驚いてください。たくさん失敗してください。失敗したことがない人は誰もいません。失敗も全てみなさんの糧になります。未来にはばたけ北稜生！！皆さんのご活躍を進路部一同期待しています。



